

## 〈特定行為教育課程 ～受講を考えている皆さんへ修了生からのメッセージ～〉

岩淵しおり（所属施設：岩手医科大学附属病院）

修了した特定行為区分：外科術後病棟管理領域

### Q. 特定行為研修を受講しようと思ったきっかけについて

クリティカルケア領域で看護に従事してきました。医師のスケジュールに合わせて、気管カニューレの交換やCVCの入れ替え等が実施される事が多いです。そのため、待機時間が長くなったり、患者の予定を変更・中断して処置が実施されたりする場面を多く経験しました。患者は不明点があっても医師に質問できず不安を抱えたままで処置を受け、事後に看護師に胸の内を明かしてくださることもありました。特定行為研修を修了し手順書を用いて医行為を実践できるようになれば、現状よりタイムリーだけでなく、看護の視点を持って丁寧な説明やプライバシー保護を行いながら処置や医行為を提供できると考え2021年に受講しました。



### Q. 現在の活動と今後の展望について

2022年から特定行為活動を開始し、ICUでの勤務を継続しながら各種ドレーンやCVC抜去、硬膜外麻酔薬の調整、PICC挿入等を組織横断的に実践しています。徐々に外科術後管理領域を修了した仲間が増え、2024年9月から院内全診療科を対象としたPICC外来の開設に至り、特定看護師だけで年間100件以上のPICC挿入を実践しています。患者様から「不安な気持ちを分かってくれる」「いつもの看護師さんだと思えば安心する」「丁寧さが違う」等の嬉しいお言葉を頂いています。スタッフからは、「新人や処置未経験の看護師でも安心して介助に付くことができる」「PICCの管理で分からないことも質問できる」と評価いただいています。現在は曜日を限定してPICC挿入を行っていますが、仲間が増えていくことで、拡充していけるのではないかと感じています。

### Q. 研修受講を考えている方へのメッセージ

特定行為を実践し始めた頃は、「看護師が医行為を行う意味について、患者は医師の処置を受けた方が安心なのではないか」と悩んでいました。指導医の助けを得ながら様々な症例を経験させていただき、安心感のある処置を提供できるようになりました。今は特定看護師になって良かったと思っています。もし迷っているなら、チャレンジしてみませんか。茨の道に感じるかもしれませんが、進んだ先にはきっと花が咲いています。

